

## 十津川水系 宇無ノ川 旭ノ川下部

日時：8月12日（土）

メンバー：M、O 2名

使用したギア：基本装備+ウエットスーツ、ライフジャケット。補助ロープ6mm、15m

8：10旭ダムを過ぎて、しばらく車を走らせる。沢は見えないが開けたスペースがあり、そこから沢に降りるポイントだと思う。一旦、約3キロ先の林道分岐に車をデポ。準備してから自転車で入渓ポイントまで戻る。ほぼ下りなので楽チンだ。自転車を開けたスペースに駐輪し、踏み跡を辿る。沢が見えてきたところで適当に沢へ降りるとダム湖の末端に降り立った。堰堤を越えしばらく河原歩き。観測所跡？があった。ここが入渓予定ポイントだったようだ。少し川幅が狭まってくると水圧が強く、流れも結構暴れてる感があった。水量は多め？ 渡渉を頻繁に繰り返し、逆行ルートを選択。11：20きれいな二重の滝が出てきた。泳ぎを交え快適に滝際を登れた。次の大釜の滝は右岸をトラバースするルートか、泳いで滝際を登れるルートを見出せるか？だったが水量が多いので滝際は断念し、右岸にあるバンドを伝ってトラバース気味に巻く。途中までフィックスロープがあったが、その先の泥付きのところはロープを出して登った。滝を超えた先におにぎりのような大岩がで〜んと沢のど真ん中に鎮座。そこで昼食。不動小屋出合を過ぎ、しばらく逆行していると左岸に林道が見えてきた。ゴルジュっぽくなり、流れに逆らって泳いだ先に引木滝が見えた。帰りはキャニオングでプカプカと流れ、簡単に林道に上そうなところまで下る。崩れた林道を50分歩き車デポ地点に15：50着。自転車を回収し、帰路に就く。



## 感想

とにかくアブの襲撃がすごかった！ 前健体操&阿波踊りでアブを払いのけながらの遡行は大変だった！ アブの野郎～！ ウエットスーツを着れば水の冷たさは感じることはなく、快適で積極的に水に入ることができた。今回、水量の多めの加減か渡渉を頻繁に繰り返し、ルート選択する場面が多かったような気がする。渡渉時、深いところは川上から流されながら斜めに泳ぎ渡り、膝下までの水深でも体が持っていかれそうになる水圧だった。もし流されると岩がゴロゴロした激流で全身強打するか、渦巻いた流れでただでは済まないところもあり注意は必要だった。もう少し水量が少ないと、もっと簡単で楽に遡行できたと思う。今回、旭ノ川本流の下部で渡渉と泳ぎメインの遡行だったが、また機会があれば、中流域も訪れてみたい。真夏の泳ぎ沢は最高だが全身運動でへろへろだ。

